

団体名		公益社団法人武蔵野市シルバー人材センター						
事業	① 指標名	公共民間受託契約金額			目標値	390,000	実績値	373,815
	過去の実績	平成25年度	平成26年度	平成27年度	達成率	95.9%	達成状況	未達成
	(単位: 千円)	387,689	388,247	379,480				
	取組内容	※28年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①普及啓発事業 市報むさしのに会員募集とセンター案内記事掲載(月1回)、センターチラシの全戸配付(1回)、関係団体の会議・イベントへ参加しPR活動を行った。 ②研修講習事業 上部団体が実施する研修会や近隣センターと連携して開催する各種研修・講習会に参加した。 ③就業開拓提供事業 就業開拓員による事業所訪問、全会員に毎月2回就業ニュースの配付、担当職員による既存発注先への随時訪問を行った。 ④調査研究事業 未就業会員を対象として懇談会、長期間・長時間就業会員の調査分析、近隣地区センターの実績や活動状況の調査を行った。 ⑤相談事業 会員の就業相談(随時)・年金相談(月2回)・税務相談(1回)を行った。地域高齢者への入会相談を事務局窓口で随時行った。 ⑥安全就業推進事業 会員の安全就業と健康維持の推進、安全管理委員会の開催(5回)、安全ニュースの発行、就業現場への安全パトロール(7・12月)を行った。 ⑦シルバー派遣事業 今年度より新たな事業として派遣事業を開始した。7月から契約も結びつき延べ18件の受託となった。 ⑧社会奉仕事業 地域の安全や福祉施設での社会奉仕活動を行った。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 平成27年度末までに武蔵野地域の駐輪場の管理業務の受注がなくなり、就業開拓に取り組み、平成28年度は、受託件数を422件伸ばしたものの、高額な契約が無く、結果として目標値を大きく下回ってしまった。会員に希望に合った業務を提供することは、シルバー人材センターの使命であることから、契約額の大きさにこだわらず、多くの事業を受注できるよう取り組んでいく。						
二次評価	積極的な就業開拓を行い、受託金額増に努めていただきたい。							
財務	② 指標名	損益計算書 事業収入 自主事業収入			目標値	233,223	実績値	216,106
	過去の実績	平成25年度	平成26年度	平成27年度	達成率	92.7%	達成状況	未達成
	(単位:)	222,594	232,532	223,525				
	取組内容	※28年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 自主財源の確保に向けての取組内容と結果(目標値は公共を除く、民間企業・家庭・独自事業の契約額) ①会員の入退会状況について 年度末会員数は1,152名となり前年度末と比較して18名の減であった。 入会者は118名(26名減)、退会者は136名(9名減)と、退会者は減少したが、入会者の減少により、会員数が減少した。 ②事業実績の拡大による事務費収入の増額について(対前年度増減額) 民間企業の契約額 85,948千円(3,431千円減) 事務費5,677千円(279千円減) 民間家庭の契約額110,962千円(4,697千円減) 事務費 8,366千円(393千円減) 独自事業の契約額 18,952千円(465千円増) 事務費 2,280千円(74千円減)と、企業、家庭の契約額が減少した。 ③独自事業収入の内訳 リサイクル事業 13,882千円(111千円減) 補習教室3,506千円(339千円増) パソコン教室 432千円(77千円増) 手芸小物販売1,131千円(236千円減)と、補習教室、パソコン教室、手芸小物販売が増加した。 ④財務面での収支の状況は、経常収益が、昨年度と比べ△1,746千円の446,290千円となったが、経常費用が、昨年度と比べ△4,121千円の444,940千円となったことから、当期経常増減額は1,350千円と黒字になり、当期経常外増減額と合わせ、当期一般正味財産増減額は1,369千円となった。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 決算書類による前年度対比は、経常収益は446,290千円(1,746千円減)、経常費用は 444,941千円(4,122千円減)、正味財産期末残高52,843千円(1,369千円増)となった。収入面では事業実績の減少が大きく、事業収益がマイナスとなった。支出では事業実績の減少により支払配分金が減少した。収支が黒字となった主な理由は、派遣事業実施に伴う連合交付金の増と事業に係わる経費を抑えた結果である。本来であれば、事業実績を増加させ、事業収益を増収させることで、収支相償とする目標であることから、今後とも事業実績の増加に向けて取り組んでいく。						
二次評価	民間企業、民間家庭の契約額のマイナスが大きい。引き続き、自主財源の確保と経営の合理化に努めていただきたい。							
内部	③ 指標名	事務局業務への会員の活用			目標値	7,500	実績値	7,378
	過去の実績	平成25年度	平成26年度	平成27年度	達成率	98.4%	達成状況	未達成
	(単位:)	6,990	6,880	7,274				
	取組内容	※28年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 会員の経歴や希望を聞いて事務局で臨時職員として雇用する。 主な業務内容は、就業開拓、運搬、施設清掃、請求書の計算、集計、OA入力業務などで、理事会・諸会議の資料準備などもお願いした。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 会員の経歴等を参考に、適材適所で臨時職員として雇用了。 主な業務内容は、就業開拓員、運搬業務、施設清掃、計算書類の確認、書類の帳合・発送事務などである。 当該年度は、植木班の受注件数が昨年度に比べ56件増となったことに伴い、運搬業務が増加した。						
二次評価	引き続き、会員を適材適所に活用することにより、事務の効率化を図っていくことを期待する。							